

利用者の声を聞き

公民館の充実と宇治公民館は再建を

4月17日に行われた文教福祉常任委員会で、2020年1月に示していた『公民館の今後のあり方（最終案）』の改定案となる『生涯学習の推進に向けて（案）』について市教委から報告がありました。

「生涯学習の推進に向けて（案）」で

「公民館全館廃止」は撤回

2019年10月に示された『公民館の今後のあり方（初案）』では、公民館条例を廃止し、有料のまなび館に看板を掛けかえる計画を示しました。

今回の『生涯学習の推進に向けて（案）』では、中央・木幡・小倉・広野公民館の4館については「廃止」の方針を明記しませんでした。

市民の運動と党議員団の議会論戦の結果、公民館全館の廃止を撤回させることができました。

しかし、公民館の有料化や取り壊した宇治公民館を再建しないなどの問題も残っています。

請願に自民・公明・立憲・国民・維新などが反対

公民館利用者の皆さんは、公民館の存続と充実を求め、学習会や市教委に粘り強い交渉を行い、今年の3月定例会に「公民館の存続と充実を求める請願」を提出しました。

公民館利用者が参考人として文教福祉常任委員会に出席し、「子どもたちは小中学校が、大人は公民館が学習の場です」「素晴らしい歴史ある公民館の灯を消さないで」など、市民の声を議会や宇治市に届けられました。

しかし、請願は自民・公明・立憲・国民・維新などの反対で不採択となりました。

宇治公民館は再建を

市教委は『生涯学習の推進に向けて（案）』に宇治公民館を再建しない理由として「中宇治地域市民協働推進拠点



が新たな学びの場となること」「中宇治地域に同様の機能を持つ複数の施設を整備する必要はないこと」としています。

公民館と同様の機能を持つのであれば、専門職である社会教育主事を配置し、市民の学びをサポートする教育施設にしていくべきですが、その保障はありません。

宇治公民館を再建し、すべての公民館に社会教育主事を配置、市民に社会教育の場をつくることが求められます。

2019	10月	「公民館の今後のあり方（初案）」で公民館条例の廃止方針 有料化方針が文教福祉委員会に報告
2020	1月	パブコメ結果を文教福祉委員会に報告 反対184人98.6% 賛成3人1.6% 「公民館の今後のあり方（最終案）」を報告 3月に「廃止条例」を提案することを表明
	2月10日	市民団体が公民館廃止反対署名5,424筆提出
	2月12日	文教福祉委員会で「廃止条例は3月議会提案しない」「最終案の最終案を提案する」と報告
2022	3月	市民団体から「公民館の存続と充実を求める請願」が提出
	4月	「生涯学習の推進に向けて（初案）」を報告

